

# みなとと新潟

Vol. 7

2012年4月

●巻頭エッセイ ● 湊まち新潟歴史ウォーク ● 技術の伝承 みなと勉強会 ● 新潟空港花絵プロジェクト



湊まち新潟歴史ウォーク第3回 平成23年7月23日(土) 於:湊稻荷神社

## 巻頭エッセイ 「湊まち新潟とまちづくり」

NPO法人新潟みなとクラブ理事長 石井洋司

開港150周年に向けた取り組みに“湊まち新潟歴史ウォーク”があります。この歴史ウォークは今年で5年目を迎えるものですが、毎年5月から11月までの間に全7回開催し、湊まちゆかりの地を歩いて巡りながら歴史に触れていただくもので、みなとクラブが主体的にかかわっている事業です。

昨年の第2回目には大山台公園まで足を延ばし“王瀬長者伝説”に触れました。第6回には沼垂の法光院を巡りましたが、そこには王瀬長者供養塔が本堂にありました。沼垂は四度の移転を繰り返していますから、かつてそこに沼垂があったであろうことが容易に伺えます。さらに遡れば「日本書紀」の「645年に“湊の柵”を設けた」との記述は、見晴らしの良い高い砂丘と前面に拠点となる湊があるという条件が揃う王瀬のあたりにあったのではないかと思います。

まちは、時代、時代の営みが積み重なってできていますので、その歴史を知ることで地域の強みを生かしたまちづくりを進めることができます。

歴史ウォークでは、湊まち新潟の中心となれる象徴的空間に数多く巡り合うことができます。第7回では、「新潟らしくひっそりと案内できる雰囲気はできないだろうか。」「休息できるような立ち寄り場が要るのでは。」との提案がまとまりました。

それを実現するのは多くの皆さんの参加です。歴史的に形成されたまちを生かし、開港150周年に向けたまちづくりに第一歩を踏み出しませんか。

湊まち新潟を再発見！

# 湊まち新潟 歴史ウォーク

## 湊まちとして発展してきた新潟の歴史と魅力を歩いて探る

湊まち新潟歴史ウォーク実行委員会(北陸地方整備局新潟港湾・空港整備事務所、NPO法人新潟みなとクラブ、NPO法人にいがた湊あねさま倶楽部、NPO法人新潟水辺の会)が主催する「湊まち新潟歴史ウォーク」は、平成23年で4年目となりました。

昨年も多数の応募者の中から抽選で選ばれ登録された一般市民の方々40名が参加。5月から11月までの各月1回、計7回が開催されました。



第1回 湊まち新潟の歴史概説 (みなとピア前)

### 平成23年度「湊まち新潟歴史ウォーク」実施概要 (実施日は全て土曜日)

実施日	テーマ	探訪施設等
第1回 5月28日	湊まち新潟の歴史概説	みなとぴあ、朱鷺メッセ
第2回 6月25日	大型浚渫兼油回収船とみなとトンネル	大型浚渫兼油回収船「白山」、みなとタワー、山の下
第3回 7月23日	新潟湊の下町散策	湊稲荷神社、金比羅神社、旧小澤邸など
第4回 8月27日	水運で活用されている水路散策	通船川、津島屋・山の下閘門
第5回 9月17日	新潟湊の経済を支えた建物探訪	西大畑、砂丘館、安吾風の館など
第6回 10月22日	沼垂湊と発酵の町散策	沼垂白山神社、味噌蔵、酒造所など
第7回 11月19日	開港150年の湊まち新潟に向けて	朱鷺メッセ展望室(夢と希望の意見交換会)



各回のテーマごとに、市民観光ガイドの「新潟シティガイド」のみなさんや、実行委員会メンバーによる解説・説明を聞きながら、普段は行けないところや目にすることのできない場所を探索・散策するという貴重な体験をされました。



第4回 水運で活用されている水路散策:津島屋閘門



第3回 新潟湊の下町散策:こんぴら通

締めくくりの第7回目は、「開港150年の湊まち新潟に向けて」というテーマで、新潟西港を眼下に見渡す朱鷺メッセ展望室において夢と希望を語り合う、総まとめを行いました。

### 散策中のみなさん



第7回「開港150年の湊まち新潟に向けて」

# 建設技術力養成セミナー みなと勉強会 ～技術の伝承～ を開催

「NPO法人新潟みなとクラブ」では、毎年クラブ会員を講師として、北陸地方整備局港湾空港部の職員を対象に勉強会「建設技術力養成セミナー」を開催しています。

平成23年度は、港湾工事において重要な位置を占めている「潜水作業」について現場で携わった経験の少ない若手技術職員を中心に、社団法人日本潜水協会新潟支部の協力を得て、「海洋構造物を支える潜水作業の基礎講座」と題して8月3日に新潟港湾・空港整備事務所において開催しました。



熱心に講義を聞き入る受講生のみなさん

講座では「潜水士と潜水作業の現況」についての説明後、潜水作業に使用する船舶・器具の説明、潜水事故防止のための潜水病対策を日本潜水協会の渡辺伸幸氏から、わかり易い説明がありました。

その後、港湾構造物の水中施工～基礎工施工における潜水作業～の講義があり、最後に現場実習として、岸壁に係船しておいた潜水士船の見学と同船の構造等について説明を受け、講義は終了しました。



若手職員は普段あまり目にしないためか、興味津々の様子で聴き入っていました。

このセミナーは、「技術の伝承」の一環で、テーマを変えて毎年開かれているものですが、現場監督に従事することが少なくなった若手職員に対して、現場におけるノウハウを伝えて行くことは「みなとクラブ」の大切な役割と考えています。



## 新潟みなとクラブ

### 24年度のおもな イベントの予定

ふるってご参加下さい！

(◎は主催行事 ○は共催・協力行事です)

- ◎新潟空港・花絵制作プロジェクト：4月28日(土)
- 湊まち新潟歴史ウォーク：5月～11月(7回実施)
- 新潟西海岸一斉清掃活動：7月16日(月：海の日)
- 建設技術力養成セミナー：7月下旬、9月上旬
- 第6回ビーチライフin新潟：8月19日(日)

## あなたも会員になって

### いっしょに活動しませんか

みなとまち新潟を愛し、みなとまちづくりに参加したいと思う“あなた”をお待ちしています。

#### 【NPO法人新潟みなとクラブの主な活動】

- 広報誌「みなぼーと新潟」の発行
- 「みなと」の文化・歴史に関する展示会の開催
- 講演会、学習会を開催し、みなとまちづくりについて学ぶ
- みなとの利用、活用に関する要望のヒアリング
- みなとに関する調査・研究

#### 【入会申込方法】

事務局(携帯電話：090-5510-3443)にお問い合わせ下さい。

～ 花絵でおもてなし～

## 2011新潟空港花絵プロジェクト

NPO法人新潟みなとクラブは、新潟空港をチューリップの花絵でかざり、国内外からのお客様をもてなそうという「2011新潟空港花絵プロジェクト」を、昨年に引き続き実施しました。

4月30日(土)の当日は、第二はじめ保育園と下山保育園の園児、下山小学校と下山中学校の児童・生徒、そして一般の参加者など総勢約100名が参加、みなさんと協力しながら花の摘み取りから花絵の制作と展示を行い、空港利用者みなさまを温かく迎えることができました。



港にほど近い河渡のチューリップ農家からご協力いただき、約4万本の色とりどりのチューリップを摘み取りました。



空港ターミナルビルで、花絵のボードの穴に予めきめていた色の花をひとつずつ差し込む根気のいる花絵制作作業です。



ターミナルビル1階センタープラザに完成した4つの花絵

それぞれのテーマと制作団体は、「友達が手を繋ぎあう日本：下山中学校」、「にこにこマーク：第二はじめ保育園」、「ライオン：エアポートライオンズクラブ」、「ガンパロウ日本：下山保育園と一般参加者」

### ＜編集後記＞

東日本大震災から1年あまりが過ぎましたが、瓦礫の処理や目に見える復興が進まず、原発事故の被災者もいまだに全国各地での避難生活が続いています。

新潟も大震災の翌日の「長野県北部地震」、7月の「新潟福島豪雨」、そして3年連続の大雪と、大災害に見舞われた1年でした。いつまでも寒く遅れていた桜もようやく開花して春本番を迎えました。今年度こそ災害のない穏やかな1年であってほしいものです。

発行：特定非営利活動法人 新潟みなとクラブ

事務局：新潟市東区太平四丁目20-32 TEL (携帯) 090-5510-3443

◎「みなぼーと新潟」に対する、ご意見・ご感想を上記あてにお聞かせ下さい。

◎ ホームページもどうぞご覧下さい。

URL <http://minatoclub.la.coccan.jp/>

2012.4